

阿賀浦コミ協だより

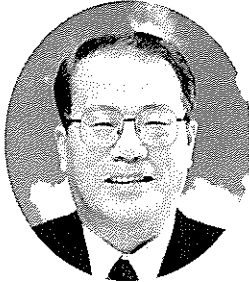
平成26年1月28日

広報第15号

阿賀浦コミュニティ協議会

年頭のご挨拶

謹んで年の始めの御祝詞を申し上げます。



阿賀浦コミュニティ協議会

会長 藤田 勇

皆さま方には清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
また、昨年中は皆さま方には、当コミュニティ協議会にご指導及びご支援などを頂き誠にありがとうございました。お陰さまで平成25年度コミュニティ協議会事業も大半終了することができました。

昨年の暮れ、当コミュニティ協議会役員定例会議に於いて、暮れ時点での課題としての案件を提案し会議に諮りました。大半が上位機関での事業案件であることから即結論とはいかず今後の継続協議案件といたしました。

その案件について概略的に申しあげますに、ひとつには岡田、中新田線道路改良事業、すでに圃場整備事業施工区間内一部施工済区間、これ以外の岡田地内区間と東金沢から中新田国道460号まで区間の今後の施行計画について。

次に毎朝夕渋滞を起こしている主要地方道新潟・村松・三川線の大安寺、中新田、満日地内と国道460号阿賀浦橋右岸側阿賀野市下里地内より中新田地内、能代川を越え新津川をも越え柿団地まで区間の渋滞解消対策について。

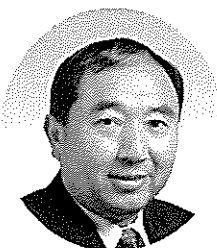
また、地域づくりでは大安寺地内にある坂口安吾の生家だったとも言われている旧阿賀小学校跡地(6,000平方メートル)。歴史的でもあった土地の今後の土地利用計画についてとすでに皆さま方ご案内の鉄道資料館リニューアルオープンについて、平成26年にオープン予定で鉄道文化と地域文化を担う人づくりを行うとあるが、当コミュニティ協議会としてどうあるべきかについてであります。

いずれにいたしましても、上位機関での事業計画であり、今後の折衝等につきましては皆さまがたのご意見をお聞きしながら進めて行きたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

年頭にあたり皆さま方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も更なるコミュニティ意識の高揚を図っていきたくと考えています。何とぞ格段のご協力添えを頂きますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

秋葉区自治協議会活動について

今年もよろしくお祝い申し上げます。



秋葉区自治協議会委員

鈴木 熊雄

先輩の皆さんのあとを引き継ぎ、今年度から自治協議会委員になりました。

秋葉区自治協議会としましても、広く皆さまから理解戴くために、PR活動を行っておりますので、この機会をお借りし、若干説明させていただきます。

自治協議会は新潟市が目指す分権型政令市を実現し、市民と行政が協働で住民自治の推進を図るため、各行政区ごとに設置されている市長の付属機関です。

今年度で三期六年が経過しました。構成員は各コミ協代表者11名、団体学識経験者等14名、公募者5名の計30名です。

活動は、月1回開催される会議で市・区からの報告や協議、そして提案等を行うと共に3部会を設置し、各委員はそれぞれの部会に所属し活動を行っております。

部会の内容は下記のとおりです。

第一部会

まちなか活性化事業として「あきはく・はつものがたり」と題してホームページの立ち上げ。

第二部会

生活交通の検討として「デマンド交通社会実験」

第三部会

文化の振興と「五木寛之氏の講演」(2,000名)、24名の応募があり抽選実施となる等盛況の中に12月14日講演会が開催されました。

その他「かわら版」の発行で活動しております。ちなみに私は第一部会に所属しております。

今までに

- ◎農振農用地（自治地域）の宅地への転用の緩和
- ◎区との懇談会のあり方
- ◎区長公募について
- ◎小中学校の適正配置について

などをテーマに開催、私もそれぞれ提案、質問してまいりました。

人々の価値観が多様化している現在、共助共生や安心安全な暮らしが出来る地域づくりが強く求められておりますので、地域の皆さんの代弁者として、自治協議会を通して行政に問題提起するとともに、行政との協働により私達の愛する故郷を次世代にしっかりと引き継ぐため、微力ながら努力したいと思っておりますので、今まで以上の皆さんからの提案、叱咤激励をよろしくお願い致します。

平成25年度各部実施行事

平成25年度に実施した各部の行事について、各部長から実施状況報告をいただきましたので、ご紹介します。

文化教養部

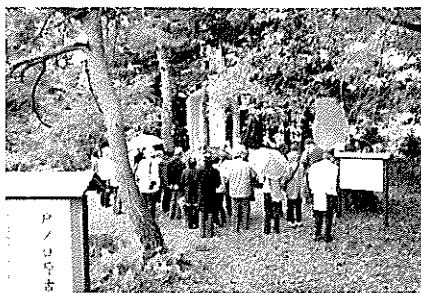
部長 阿部和博

文化教養部では、恒例の盆踊り大会・芸能祭・史跡巡りの事業を実施しました。

- ① 第4回盆踊り大会……8月10日、地区社会福祉協議会と共催で新津地域学園テニスコート脇駐車場を会場に開催。450人ほどの参加者は、時を忘れ踊りに興じていました。
- ② 第7回芸能祭……東日本大震災から2年半が経った今こそ「絆」を大事にと、参加者全員による合唱「花は咲く」で幕を開けました。また、今年は、中新田の子供たちのチーム「キュートキッズ」が新たに参加・東町キッズクラブの子供たちとともにダンスを披露し会場を大いに盛り立てました。
- ③ 第7回史跡めぐり……戊辰戦争の完結編。10月27日、41名が乗り込んだ観光バスは一路会津藩へ。最初に白虎隊奮戦地「戸ノ口原古戦場」、続いて大本営「旧滝沢本陣」や「藩主松平氏庭園」、「御薬園」、そしてなぎなたの名手・中野竹子殉節の碑と墓を訪れました。行く先々には生々しい銃弾跡や刀傷が



多数あり、戊辰戦争の激しさを知らされました。



戸ノ口原古戦場



中野竹子殉節の碑

保健福祉部

部長 城向政秀

保健福祉部では、次の4事業を実施、推進中です。ご協力ありがとうございました。

① 第7回ゲートボール大会

実施日：6月2日(日) 会場：七日町ゲートボール場

参加者：43名

総評：簡素化ルールにて実施、大会存続危機に一応の歯止めを得た。

結果：優勝 東金沢 準優勝 大安寺 3位 新金沢町

② 第7回ソフトボール大会

実施日：9月29日(日) 会場：第五中学校

参加者：80名

総評：日曜日、快晴 五中グラウンドも条件良く、各チームも選手確保が出来た。

結果：優勝 新金沢町 準優勝 大安寺 3位 中新田

③ 第4回フロアカーリング大会

実施日：11月17日(日) 会場：新津B&G海洋センター

参加者：108名

総評：小学生の参加も増え過去最大規模のF・K大会となった。

結果：優勝 新金熟年B 準優勝 中新田ドラゴンズ 3位 東金沢A 敢闘賞 大安寺サンフラワー ブービー賞 新津東町山川ヤンキー

④ 介護予防運動

期間：6月より毎月第一火曜日

会場：地域学園 (6月～9月と来年3月以降 午前)

勤労青少年ホーム (10月～3月予定 午後)

参加者：20名～30名

1) ロコモ体操講習会

実施日：毎月第1火曜日 10:00～12:00 会場：地域学園

参加者：平均35名 (昨年より10名アップ 好評開催中)

〈介護が不要な健康のうちから始めましょう

『あの世まで歩いて行こう1, 2, 3』

2) ラジオ体操100日運動

認定授与者：11名 (このうち3名は400日達成)

〈ラジオ体操テープをご希望の方は担当までご連絡下さい。〉



— 外に出て、心と体の「健幸」づくりに励みましょう —

こども育成部

部長 遠藤 貴光

こども育成部では、9月29日(日)に「凧作り・凧揚げ」と11月10日(日)「ドッジ・ビー」を企画しました。

「凧作り・凧揚げ」には約60名の参加者があり阿賀小学校体育館・グラウンドをお借りし行いました。和紙に書かれてある絵に色を塗り竹ひごと凧糸をつけグラウンドで揚げました。当日は天候にも恵まれ様々な凧が揚がりました。なかなか揚がらない凧もありましたが、子供たちは一生懸命走り楽しそうでした。

ドッジ・ビーには50名の参加者がありました。ルールはドッジ・ボールと同じなので低学年のお子さんもたくさん参加して下さいました。親子対決をしたりフリスビーを3つ使ったりと精一杯体を動かし有意義な時間を過ごせたようです。参加賞も盛りだくさんで、皆さんには喜んでもらえたようです。参加して下さいました皆さまありがとうございました。



＝ 年末年始各地区で行われている諸行事紹介 ＝

●イルミネーションが燦然と輝く公園

新金沢町では、毎年中心部の信号脇公園にイルミネーション装飾を実施しています。12月1日、町内会役員・地域PTA・青年部の人達が寒空をものともせず飾りつけました。材料の買い増し、取り付けにくく危ないようなところには滑車などを設置したり年々立派になっています。12月15日午後4時から点灯式。幼児・子供約100名、大人を合わせて150名近くの参加でカウントダウン点灯式が行われ、1月12日まで綺麗なイルミネーションが見られました。



●さいの神

お正月が終わると1月半ばに「小正月」と呼ばれるもう1つの正月がやって来ます。

日本は明治時代の初めまで月の満ち欠けを暦の基準にし、新年初めての満月の日である15日が1年の始まりとされていました。15日ごろ小正月として祝う風習は、その名残です。15年前まで1月15日が「成人の日」だったのも、かつて大人になる儀式がこの日に行われていたからです。正月の松飾りなどを積み上げて燃やす「さいの神(サイノカミ)」は「どんど焼」とも呼ばれ各地で行われています。「災いを焼く、さえぎる」という意味があるとのこと。



阿賀浦地区各町内でもこの「さいの神」が地域の関係者により実施されています。藁確保・竹確保等たいへんな作業かと思いますが、伝統を引き継いでいてもらいたいと思います。

川柳コーナー

- 午年に 消費税まで 跳ね上がる
- 新年の 誓いはいつも 「今年こそ」
- 初詣 今年こそはと 60年
- スマホ鳴り 固定電話が あくびする
- 年開けて 健康診断 D判定

～ 広報部員詠み ～

編集後記

ほとんど雪のない正月をむかえ楽だなと実感。雪が多い地区の方からは怒られそうですが、小正月行事の「さいの神」が行われている状況に、伝統を引き継いでいる関係者には頭が下がる思いです。伝統が消えかけている現状がある中、このような地域の伝統が引き継がれ、行われていくようお手伝いしなければと痛感です。関係者のみなさん御苦労さまでした。

広報部一同